

報道関係各位

31 年続いた調査を日本水フォーラムが継承

第 32 回「水にかかわる生活意識調査」

～社会インフラとしての水への認識、日常の関心・行動に変化～

※調査史上初！四国 4 県を対象に追加、地域特性を検証

特定非営利活動法人日本水フォーラム（東京都中央区、代表理事：竹村公太郎）は、ミツカングループが 31 年にわたり実施、公表してきた「水にかかわる生活意識調査」を事業継承し、第 32 回調査を完了しました。経済・社会・環境が激変する現代において、本調査の定点観測データを途絶えさせることなく、水の文化のこれからを社会へ発信し続けるため、本日より結果レポートを一般公開いたします。

【事業継承について】

本調査は、日本の水の文化を伝える、他に類を見ない貴重な内容であることから、社会的にも価値ある取り組みです。2014 年の水循環基本法成立後は、我が国の水循環政策においても有意義であると考えられます。しかし、2025 年 12 月末日にミツカン水の文化センターの活動が終了したことに伴い、本調査も終了することが発表されました。そこで当会は、本調査の社会的な意義や価値に鑑み、ミツカングループのご理解とご協力のもと、同センターの精神を受け継ぎ、本調査を継承。ご協賛各社のご支援を得て、これを再開いたしました。

【調査結果について】

今年は、従来の調査設問を中心に構成したほか、社会インフラとしての水への意識を探る新たな設問を追加しました。水への日常的な関心や意識・行動に変化がうかがえる結果となりました。調査結果に対する、沖大幹博士による解説「Okī's View」は、引き続き掲載しています。社会インフラとしての水の重要性を改めて考えるきっかけともなる今年の結果レポートを、添付資料または以下の URL から是非ご参照ください。<https://www.waterforum.jp/news/24606/>

【今後について】竹村代表理事のメッセージ

「ミツカン水の文化センター様の 31 年間にわたる取組みに深く敬意を表します。本調査の継承に際し、改めて感謝を申し上げます。奇しくも今年は、「水の日」が 50 年目の節目を迎えています。水は生命の源であり、文化です。私たちの日常は、水が支えているのです。日本水フォーラムは、日本の水の文化をさらに探究し、全世界に向けて発信していくことも目指しています。」

【事業概要】

名 称：第 32 回（令和八年度）「水にかかわる生活意識調査」

調査対象：東名阪の都市部在住 20～60 代の男女 1500 人、四国 4 県在住 20～60 代の男女 1300 人

調査方法：インターネット調査

調査期間：2026 年 6 月 11 日（木）～16 日（火）

調査主体：特定非営利活動法人 日本水フォーラム（認定 NPO 法人）

特別協賛：株式会社フソウ

協 賛：株式会社 J・クリエイト

「日本水フォーラムについて」

ビジョン

日本水フォーラムは、すべての人が水に起因する苦しみから解放され、水の恩恵と価値を最大限に享受できる世界の実現を目指しています。

日本水フォーラムとは

国内外の水問題の解決に寄与することを目的として、2004（平成 16）年に設立された非営利・非政府団体です。2020（令和 2）年には、公益の増進に資する団体として「認定 NPO 法人」に認定されました。

国内外の多岐にわたる水関係者とのネットワークを活かし、ビジョンの実現に向けて、世界各地と日本国内で、4本の柱「政策提言」「草の根活動の支援」「日本の叡智の世界への発信」「人材育成・啓発」の活動を実施しています。

本調査は、「人材育成・啓発」に該当します。今後は「日本の叡智の世界への発信」に繋げていくことを目指しています。

既存の主な取組み／プログラム

政策提言	「アジア・太平洋水サミット」の開催、「国連水会議」への参画
草の根活動の支援	「JWF ファンド」「4℃アクアプログラム」「ダルビッシュ有 水基金」
日本の叡智の世界への発信	「世界水フォーラム」への参画、「水防演習大使館ツアー」の催行
人材育成・啓発	「打ち水大作戦」、「ユース水フォーラム」

公式サイト：<https://www.waterforum.jp/>

本件に関するお問合せ先（ご掲載・ご取材等）Email アドレスの[at]は@に代えて送信してください

特定非営利活動法人 日本水フォーラム（認定 NPO 法人）担当：工藤、桑原

Email: press_jwf@waterforum.jp TEL: 03-5645-8040 Mobile: 050-5235-1581

一般（報道関係以外）のお問合せは、office-info@waterforum.jp にて承ります